

【国語】

児童の状況	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の物語に興味をもって読んだり、進んで読書に取り組んだりできる。 話をしたり、教材文の内容を読み取ったりする際に、順序や場面の移り変わりなどを考える力がやや不十分である。 動作化や劇化には進んで取り組める。 漢字や文章を書く力に個人差が大きい。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書が好きで、読書タイムの読み聞かせも集中して聞くことができる。 文章を書くことは進んでできるが、自分の思いを上手に表現したり、順序立てて書いたりすることが苦手である。 文字を丁寧に書いたり、漢字を正確に読み書きしたりする力に個人差が見られる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が感じたり、伝えたかったりする思いを進んで発表できる。 物語分の内容の読み取りは、ほぼ学年相応の力が身に付いている。 長文を書くことを苦手で、文章の構成を考えたり、効果的な表現を用いたりする力が不十分である。 漢字の読み書きや、言葉の意味やつかいかたが理解できていない。
指導についての課題	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読練習を繰り返し行わせることで、文節を意識させたり、言葉の意味をしっかりとらえさせる。 話の順序や場面の移り変わりを理解させる上で、紙芝居や掲示用の絵を活用する。 視写の時間を確保する。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の小テストを行う時間を確保する。 登場人物の気持ちを行間に書かせるなどし、情感を豊かにする。 必ず「自分はどう思うか」という視点で学習にのぞむ。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の苦手な子にどのように読み書きを定着させるかを考

	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙の少ない子が多いので、読書を通じて語彙や言葉の意味を覚えさせる。 ・文章から内容を読み取らせるための工夫をする。
<p>授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の前で、身近なことや体験したことなどについて、順序を考えながら相手に分かるように話す場を設ける。 ・大事なことを落とさずに、集中して最後まで順序立てて話を聞けるようにする。 ・視写の練習や、整理してノートに書く練習をし、文字を丁寧に書く力を身に付けさせる。 ・動作化や劇化等を通して、場面の様子や人物の気持ちを読み取ったり、書いてあることの概略を理解できるようにする。 ・時間の順序や書かれている内容の順序が分かるようなワークシートの作成を工夫し、正確に文章を読み取らせる。 ・読み聞かせを継続的に取り入れるなど読書活動を工夫して、本に親しめるようにする。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて内容が伝わるように、小グループや学級全体の前で、スピーチや発表をする機会と場を設ける。 ・話の重要な部分についてメモを取りながら聞く練習をさせる。 ・体験したことを新聞形式にまとめたり、伝えたいことを手紙に書いたりする活動を取り入れる。 ・サイトライン等を活用して、人物の気持ちの移り変わりや様子の変化を想像して読めるようにする。 ・目的に応じて内容をまとめたり、段落の関係を考えたりできるようなワークシートの作成を工夫し、意味のまとまりごとに文章を読み取らせる。 ・読書タイムの充実を図り、おもしろかった本の紹介をしながら読書体験を増やしていく。 ・定期的に漢字テストを行い、漢字を文の中で正しく使えるようにする。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて的確に話す場を設ける。 ・必要な情報を収集・選択しながら話を聞けるようにする。 ・日常生活の中で問題意識をもたせ、自身の体験をもとに意欲的に文章を書けるようにする。 ・言葉の意味を考えて、人物の心情や情景表現に着目しながら

	<p>ら読めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の主題を捉えたり、説明されている事柄の要旨を把握したりできるようなワークシートの作成を工夫し、読みを深められるようにする。 ・読書タイムを一層充実させ、ものの見方・感じ方・考え方を広げたり深めたりできるようにする。 ・定期的に漢字テストを行い、漢字を正しく使えるようにするとともに、日常的に語彙を増やしていく。
--	--

【社会】

児童の状況	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもって進んで調べ学習に取り組み、調べた事柄をまとめることができる。 ・実際に体験や見学で見聞したことがらについては様々な考えをもつことができるが、教科書などを通じて得た内容に対しては自分の考えをもつことがあまりできない。 ・地図や資料を活用する経験が少なく、十分に情報を集めることができない。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や日常の生活と結びつけながら、農業、水産業、食糧問題等について意欲的に考えることができた。 ・図やグラフ、地図帳等から情報を収集することが苦手である。 ・都道府県や地名などの既習事項の習熟に個人差が大きい。 ・歴史に対する興味・関心が大きく進んで調べ学習等に取り組める。 ・インターネットなどを活用するが、転写している場合が多く、自分の考えや表現が少ない。
指導についての課題	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のめあてを一層明確にさせた上で、学習に臨ませる必要がある。 ・地図などの資料活用の具体的な方法を明確に示していくことで、子供の力を伸ばす。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まりに、個々の課題を明確にすることで、学習への意欲をさらに向上させる。 ・自分の生活と社会とのつながりに目を向け、生きた学習をする。

<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域や東京都及び都道府県の学習では地名や公共施設などについて、その都度理解できるようにする。 ・授業での問題づくりを工夫し、いくつかの視点から物事を多面的に考えることの楽しさを味わわせる。 ・観察や調査、見学体験、資料の読み取り等重視する授業を展開する。 ・節水や節電などの資源の有効な利用の仕方を指導していく。 ・習得した知識を適用したり応用したりできるミニワークシートを用意し、毎時間のまとめとして取り組ませる。 ・学習のまとめ方を学習の内容に応じて工夫する。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国名、山地や川の名前、地名や工業地帯（地域）、名等についてはその都度地図帳等を用いて確認していくように指導する。 ・学習を進めながら、自分たちの生活（地域、国、時代等）と対比して考えたことを表現できるように働きかけをしていく。 ・観察や調査、見学体験、資料の活用などを重視する授業を展開する。 ・掛け地図や地球儀等を活用して、児童が日常的に地図に触れることのできる環境を整える。 ・習得した知識を適用したり応用したりできるミニワークシートを用意し、毎時間のまとめとして取り組ませる。 ・学習の終わりに振り返りカードを使って、感想や疑問に思ったことをまとめ、思考を整理させる。
-----------------------	---

【算数】

<p>児童の状況</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の構成など基礎的な事柄についてはほぼ理解できている。 ・筆算はほぼできている。 ・文章題は、題意を読み取れないための間違いが目立つ。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九が十分に定着していないために、割り算での計算ミスが多い。 ・繰り上がり、繰り下がりのある計算が十分できていない。 ・計算力や教具を操作（定規、コンパス等）する力に大きな
--------------	---

	<p>差が見られるようになっている。</p> <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項が身に付いていないため、新しい単元での学習内容を十分に積み上げられない。 ・四則計算の力が十分でないため、文章題で内容を理解しても正確な答えを出せない。 ・図形に対する興味・関心はあるが、それぞれの名称を覚えたり、作図したりするのが難しい。
<p>指導についての課題</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な操作を通じて理解させる時間をもっと確保する。 ・入学時にすでにある個人の能力差を考えた上での指導が必要である。 ・手先を使う活動(ものさし等)は家庭への協力もよびかけ、スキルの時間を確保する。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導体制のため、進度をそろえることが前提となるので、十分に時間をかけられないときがあった。 ・計算力を身に付けるための習熟の時間の確保が難しい。 ・個人差が大きくなり始める時期なのでその対応を工夫する。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導体制のため、進度をそろえることが前提となるので、十分に時間をかけられないときがあった。 ・学習意欲の低下している子にはマンツーマン体制で補習も兼ねて丁寧に対応する。 ・内容を十分理解できている子供をミニティーチャーとして活動の場を設け、児童相互の教え合いを大切にする。 ・文章題では、何を問われているかという国語的な要素についても、しっかりと説明し、題意をとらえさせる。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算カードやマス計算による繰り返しの習熟を行い、足し算・引き算及びかけ算九九の計算力の定着を図る。 ・具体的な操作活動を多く取り入れ、足し算・引き算の計算の意味を体験的に理解させる。 ・具体物や半具体物(図や絵カード)を活用し、児童に視覚的に訴え、量の大きさや図形に対する感覚の基礎を育てる。 ・文章題への取り組みを多くし、「分かっていること・聞かれていること」は何かを読み取り、立式する力を育てる。

・問題の解決のために、具体物や半具体物を用いた具体的操作活動の経験を活用し、計算の仕方を考え、説明する力を育てる。

・基礎学力の定着のために、少人数指導の形態を生かし、個に応じた指導の充実を図る。

(中学年)

・マス計算やプリントによる繰り返しの習熟を行い、かけ算や割り算の計算力の定着を図る。

・半具体物や図を活用し、小数や分数の意味や表し方について理解を深める。

・二等辺三角形や正三角形、平行四辺形やひし形などの平面図形、直方体などの立体図形を構成要素に着目してとらえられるようにする。

・図や具体物に加えて、テープ図や線分図及び数直線を用いて、見通しをもち筋道を立てて考え、問題を解決する力を育てる。

・数量やその関係を「言葉・数・式・図・表・グラフ」などに表したり、読み取ったりする力を育て、自分の生活とのつながりを意識し、活用しようという姿勢を育てる。

・基礎学力の定着のために、少人数指導の形態を生かし、個に応じた指導の充実を図る。

(高学年)

・小数や分数の計算の仕方（加法・減法・乗法・除法）に対する理解を深め、計算力の定着を図る。

・面積や体積の求め方を理解するとともに、平面図形では、図形カードの操作活動を通して、合同の概念として縮図や拡大図、対称の考え方について理解し、図形を静的なものから動的なものとしてとらえられるようにする。

・数直線・線分図・面積図などを活用し、見通しをもち筋道を立てて考え、問題を解決する力を育てる。

・数量やその関係を「言葉・数・式・図・表・グラフ」などに表したり、読み取ったりする力を身に付けさせ、自分の生活の中で進んで活用しようとする力を育てる。

・基礎学力の定着のために、少人数指導の形態を生かし、個に応じた指導の充実を図る。

【理科】

<p>児童の状況</p>	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の観察場面では非常に興味・関心をもちながら取り組み様々な気づきを見つけられる。 ・ワークシートへの記録は絵を丁寧にかき、色使いもよくまとめることができる。 ・電気のはたらきは意欲的に取り組んだが、内容の理解は十分ではない。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験は大変積極的に取り組むことができる。また、器具の扱い等も指示をよく聞き、安全に操作できる。 ・何と何を比べるために実験をおこなっているのかという点での理解が十分ではなく、条件を変えたり、同じにしたりする意味をとらえられていない。 ・実験や観察した内容についての理解が十分ではない。 ・様々な考えを発表できるが、科学的な根拠に基づいた意見が少ない。
<p>指導についての課題</p>	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を通じて学んだ内容をどのように定着させるかを工夫する。 ・実験、観察以外の授業内容でも、意欲的に学習に取り組めるように工夫する。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な根拠に基づいた意見を言えるように必要な事項をしっかりと伝え、個々の理解を高める。 ・興味・関心のある分野に偏りが見られるので、どの内容でも進んで取り組めるように工夫する。 ・計画的に活動できるように単元の始めにしっかりと見通しをもたせる。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察の視点や実験の目的を明確にし、問題解決的体験学習の充実を図り、個による観察及び実験を進め、実感を伴った理解を図る。 ・観察や実験の結果を個々に表記させ、個に応じた評価と支援をしていく。 ・実験器具の正しい取り扱い方を徹底する。 ・観察・実験カードについては記録方法のポイントを明らかにして記入させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる用語や名称を覚えさせる工夫をする。 (高学年) ・観察の視点や実験の目的を明確にし、問題解決的体験学習の一層の充実を図り、科学的思考力を向上させるための個による観察及び実験の機会を増やし、実感を伴った理解を図る。 ・観察や実験の結果をわかりやすく表記させ、個に応じた評価と支援をしていく。 ・実験器具の正しい取り扱い方をより徹底する。 ・実験に際し、「予想（仮説）→観察・実験→結果及び予想との比較・考察」という流れで指導するとともに、この流れが学習記録として残るような観察・実験カード・ノート指導の工夫をする。 ・基本となる用語や名称を確実に覚えさせる工夫をする。 ・実験や観察に用いる植物や小動物の生命を尊重し、自然を大切に育む。
--	---

【家庭】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の日常生活と照らし合わせながら学習を進めることができる。 ・体験に基づく意見を意欲的に発表できる。 ・調理実習には安全を意識しながら、非常に意欲的に取り組むことができる。 ・裁縫は手先の器用さに個人差があり、作品の仕上がり具合にもそれが反映される。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを実際の生活の中で反映できるように、家庭という社会のなかでしっかりと役割をもたせるようにし、家庭の一員という意識をもたせるようにする。 ・調理や裁縫は時間の確保が難しいので、長期休業中などにも実践させる。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習を家庭で生かせる（家で繰り返しできる）ような教材選びをする。 ・安全に効率よく学習を進めるために、事故防止の意識を徹底させる。 ・実践的な体験活動を通して、環境に対する意識を育てる。

【体育】

<p>児童の状況</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気いっぱい体を動かすことができる。 ・走ったり、チームでのリレー遊びなどに夢中になって取り組める。 ・友達と競い合いや協力が少しずつ意識できる。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付けを協力して行える。 ・伸び伸びと運動に取り組める。 ・相手との競い合いや、自分の記録の向上を意識しながら繰り返し練習できる。 ・ゲームでは勝敗に強いこだわりをもつ。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性を理解しながら、取り組める。 ・単純なエクササイズの繰り返しでも、自分の記録の向上のために全力で取り組める。 ・器械体操などが苦手な児童も、技術を習得しようと努力できる。 ・保健の学習では、自分の日常生活と照らし合わせながら考えることができる。
<p>指導についての課題</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめにきちんとめあてをもたせることで、より運動の楽しさを伝える。 ・様々な動きを取り入れることで、基礎的な運動神経の発達を促進する。 ・場の設定の工夫、教具の工夫を行う。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてをしっかりとめた上で、それぞれの運動に取り組ませる。 ・モデルとなる子を始めとし、友達相互によさを学び取らせる。 ・記録向上のための的確な支援を行う。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性を意識させ、個々のめあてももたせた上で、取り組ませる。 ・友達相互の教え合い、学び合いを取り入れ、自分たちで工夫ができるような環境、雰囲気作りを支援する。 ・場の設定を工夫することで、意欲の向上につなげたい。

<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある集団行動を身に付ける場として指導を続ける。 ・様々な運動に親しみ、体力向上につながるような内容の工夫をする。 ・集中的に取り組む活動や時期を設定する。(なわとび、持久走等) ・子ども達の関心・意欲を持続できるような場を設定する。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある集団行動を実践できる場として指導を続ける。 ・運動の特性に応じた技能の定着を図る。 ・運動の関連性に関心をもたせながら指導する。 ・子ども達の関心・意欲を持続できるような学習カードの工夫・活用を図る。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある集団行動を意欲的に実践できる場として指導を続ける。 ・運動の特性に応じた技能の定着と向上を図る。 ・運動の関連性を意識して活動できるように指導する。 ・課題をもち、活動を計画的に進められるような学習カードの工夫を図る。 ・自分の課題にあった練習方法を選び、進んで取り組めるように様々な場を設定する。(特に、陸上運動・器械運動) ・ワークシートを活用したり、体験を話し合ったりしながら、安全なくらしや病気の予防についての基礎的な知識を身に付ける。
-----------------------	---

【総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことや身近な環境について、自分との関わりの中で様々なことを考えることができる。 ・リサイクルで学んだことを実践している子が多い。 ・パソコンは家庭で所持している子とそうでない子との差が激しいが、意欲的に取り組める。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動教室にむけて、準備をしっかりと行える。 ・係の活動は責任をもって取り組める。 ・それぞれの担当する活動に全体が協力する姿勢をしっかりと
--------------	--

	<p>ともちながら、取り組める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りは、社会で学んだことをもとにしっかりと実践できる。
指導についての課題	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科との縦横のつながりを意識し、それぞれを関連させながら授業を展開する。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動教室は初めての施設、環境を利用するのであらかじめプレゼンを用意するなど、資料を準備する。
授業改善に向けての具体的方策	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に自分との関わりの中で、今自分に何ができるかという視点をもたせる。 ・パソコンはペアをつくることで教え合いながら学習をすすめる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数構成のなかで、効率よく係活動が展開できるように工夫する。 ・米作りでは外部からの専門家を招き、苗作りから稲刈りまで、年間を通した継続的な学習を展開する。

【音楽】

児童の状況	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて強弱や速さから様子を想像することも楽しんでおり、リズムにのって歌ったり、身体表現をしたりすることができる。 ・高音はよく響く自然な歌声で歌うことができる。 ・鍵盤ハーモニカの技能に個人差が見られるが、意欲的に取り組んでいる。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌うことは好きで、イメージをして工夫して表現すると表現が変わるおもしろさに気付いてきた。 ・音楽を聴いて曲想の変化を感じ取ることはできる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高音は響くのびやかな声で歌っている。
指導についての課題	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの運指に自信がもてるようにする。 ・さまざまな音色の打楽器にふれさせ、音楽を聴いて曲の感じを言葉やからだなどで表現できるようにする。

	<p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージをもって表現できるようにし、中低音の歌声の響きをよくする。 ・リコーダーの運指とタンギングの技能に個人差があるので個人指導の時間を工夫する。 ・読譜能力を身に付けるため階名唱やリズム模倣を多く取り入れる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージをもって表現できるようにし、基本的な発声を身につけさせる。 ・リコーダーの運指技能に個人差があり、タンギングと読譜ができていない。 ・さまざまなパートの役割を感じ取りながら合奏や合唱ができるようにする。 ・さまざまな音楽文化や音色の楽曲にふれさせ、音楽への興味の幅を広げる。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンギングをしたり音楽の要素を変えたりして少しずつ何度も演奏し、鍵盤ハーモニカの運指の技術と曲の感じについて言葉などで表現できるようにする。 ・即興的にリズム創作を行い読譜能力へとつなげていく。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲を演奏する度にタンギングや読譜、イメージをもって音を音楽にすることを意識させる。 ・魅力的な中低音の歌声を聴いて、模倣をしたくなるようにする。 ・さまざまな音楽文化や音色の楽曲にふれさせ、音楽への興味の幅を広げる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲を演奏する度にタンギングや読譜、イメージをもって音を音楽にすることを意識させ、体の使い方を具体的に指導する。 ・さまざまな音楽文化や音色の楽曲にふれさせ、生活と音楽の関わりへの関心を高める。

【図画工作】

<p>児童の状況</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで創作活動に取り組める。 ・手先が不器用なため支援を必要とする場合がある。 <p>(中学年)</p>
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで活動できる。 ・集中して授業に取り組めるようになってきた。 ・自分の思いを作品に十分に生かすなど、創意工夫をしながら取り組める。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の用意がきちんとできなかつたり、授業に集中して臨めないことが多い。 ・高学年らしく、創意工夫がしっかりとなされた作品を仕上げる子が増えてきた。 ・ポスターづくりでは、細部にわたり工夫がなされ、根気よく仕上げる事ができた。
指導についての課題	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入時の的確な説明、明確な指示をする。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した時間内に作品が仕上がるよう、計画的な授業展開をする。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に集中できないことが多いので、興味・関心を高められるような題材を用意して、取り組ませる。
授業改善に向けての具体的方策	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくることに関心を持ち、作りだす喜びを味わうようにする。 ・体全体で感じ取り、自分の思いをふくらませる表現学習を展開する。 ・身の回りの作品を鑑賞することで、関心・意欲を高める。 <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指や手のひらを十分に働かせた粘土学習に取り組み、表現力を高める。 ・鑑賞の時間、鑑賞カードを活用して友達の作品の良さやおもしろさを感じ取らせる。 <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原色の色作りを理解させ、水彩画に対する興味・関心を高める。 ・美しさ、楽しさなどの調和を考えて、創造的に自己表現ができるようにする。 ・作品等から良さや美しさを感じとり、それらを大切にする。

【生活】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の世話をすすんで行き、その成長を記録することができる。そのことを通して、生命を尊重する態度を身に付けることができた。 ・学校たんけんでは2学年が協力し、活動できた。特に2年生はしっかりとおにいさん、おねえさんとしての役割を果たすことができた。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分1，2年生でふれあう時間確保したことがよかった。 ・観察記録などを書くのに不慣れな子に、慌てず記録できるだけの十分な時間の確保を大切にしたい。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて動植物の世話にしっかりと責任の意識をもたせる。 ・必要に応じて、家庭との連携を取りながら学習を進める。 ・地域の公園や施設等とのかかわりを多くし、自分たちの町への意識をもたせるようにする。

【外国語活動】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導にあたる外国人講師が昨年度から継続しているため、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められている。 ・外国人に対する興味はあるが、異文化や言語を理解しようとする意欲は消極的である。 ・ペアをつくって対話する場面では、生き生きと活動することができる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化に対する興味と言語理解に対する意欲を高める。 ・外国人講師の話が子どもにうまく伝わらないことがあった。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国文化や習慣に慣れ親しむ時間を確保する。 ・自己研修・研鑽の時間を確保し、外国語への教師自身のスキルアップを図る。 ・絵カードなど視覚にうったえかけられるような教材を用意することで子どもが積極的に取り組めるように配慮する。